



# ニュースリリース

(公財)さっぽろ青少年女性活動協会  
こども育成課  
～街とともに 未来を育む 人づくり～

## 北海道の夏を満喫！児童会館を飛び出して



## 洞爺湖で『サマーチャレンジ！カヌーキャンプ！』

札幌市児童会館・ミニ児童会館を管理運営している(公財)さっぽろ青少年女性活動協会こども育成課では、各部門と連携し、部門の持つ専門性をいかした子どもの体験活動を児童会館で行っています。今回は、野外活動の豊富なノウハウを持つ企画事業課と連携し実施しました「サマーチャレンジ！カヌーキャンプ！」の様子をお伝えいたします。



宿泊するテントを背景に、企画事業課職員からパドルの使い方やカヌーの乗り方のレクチャーを受けます。

7月30日(火)～8月2日(金)の4日間、1泊2日の3期に分けて洞爺湖湖畔にある水辺の里財田キャンプ場にて行いました。市内児童会館から小学2～4年生の放課後児童クラブ員101名の参加がありました。

本キャンプでは、企画事業課職員がプログラムディレクター、メインマネジメントとしてカヌー等のプログラム指導、全体進行を行い、会館職員はグループリーダーを担当しました。初めて野外宿泊する子どもたちも会館職員と一緒に活動できる安心感で、のびのびとチャレンジする様子が見られました。

子どもたちは、メインのカヌー体験はもちろんのこと、湖畔でタモ網を使った生物採取など日常では味わえない自然、そしてキャンプの醍醐味でもある野外炊事やキャンプファイアーを野外活動とグループワークのプロのもと安全に楽しく満喫しました。グループで協力してキャンプ生活やアクティビティを経験することは、コロナ禍を過ごしてきた子どもたちにとって、子ども同士のコミュニケーション力の促進につながる大事な機会ともなります。

参加児童の保護者からは、家庭では連れていくことが難しいのでこのような機会があることに感謝しているとの声も多くいただき好評を得ました。

また、キャンプに従事する職員同士も子どもの育ちに関わる者として相互に学びあう関係を築き、スキルを取得しあうことで、子どもの体験活動の更なる支援力、総合力の向上に努めていく学びの場ともなっています。

(公財)さっぽろ青少年女性活動協会こども育成課では、健全育成には、子どもたちの五感を発達させていく直接的な体験が欠かせないと考えています。これからも、目的を持った質の高い体験機会を児童会館で実施し子どもたちの健全育成を支えていきます。



### <(公財)さっぽろ青少年女性活動協会>

札幌市児童会館、ミニ児童会館をはじめ、こどもの劇場やまびこ座・こども人形劇場こぐま座、若者活動センター・若者支援総合センター、札幌Lプラザ公共4施設、青少年山の家、定山溪自然の村、北方自然教育園、千歳市児童館・学童クラブの管理運営をとおして、「人とのつながりによる魅力あふれる未来社会の創造」を実現していきます。

### <本件に関するお問い合わせ先>

こども育成課 担当 細川 ikuseika-release@syaa.or.jp TEL011-671-4121  
(公財)さっぽろ青少年女性活動協会 〒063-0051 札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10  
<HPアドレス> <http://g-kan.syaa.or.jp>

